

就職活動をしている中で特にやりたいことが決まっていなかった。子どものころは実家で母がコープみやぎの共同購入を利用して、コープの商品は身近な存在だった。「地元の宮崎に根差した企業で働きたい」と思っていたところ、就職フェアで出会った採用担当の方の印象が心に残り、「こんな温かい人と一緒に働きたい!」と思いコープみやぎを受験した。

共同購入事業で配達をしながら、組合員さんのお気に入りや使いこなしを横つなぎして、使ってみての感想を聴く。聴いた声をまた他の組合員さんへ橋渡しをしていく中で、少しずつ自分のやりたいことがみえてきた。「組合員さんに喜ばれる商品を開発したい!」商品部で働くことを目標に日々組合員さんに役立ち喜ばれることを自分なりに追求し積み重ねていった。そして今、目標にしていた商品部で商品開発の仕事させてもらっている。



これまでの商品開発で一番感動したこと。「お店に行けない方も家庭で楽しめる地元の美味しい冷凍麺を開発したい!」という思いで、地元の方へ人気で歴史のあるうどん屋さん監修のもと冷凍うどんの開発に挑戦した。うどん屋の社長さんにお会いして話を聴くにつれ、お店や商品に対する強い愛着と誇りを感じ、お店監修のもと商品を開発することの責任を感じた。お店を訪れたことがない方にとっては、この商品がお店の評価につながることも気づかされた。社長さんに納得いただける味ができるまで、商品化は絶対にできない!と思った。試作の途中、社長さんから「じゅうぶんに美味いけれど、この味では監修として出すには足りない!」と言われ諦めかけた時もあった。何度も何度も試作を重ね「これならOKです!」の言葉をいただけた。やっとの思いでお店監修の商品を開発することができ、言葉では表せないほど嬉しかった。この商品を発売してからは多くの組合員さんにご利用いただき、「美味しかった!いつかお店に行ってみたいです!」など嬉しい声がたくさん寄せられた。

商品開発では、組合員さんの声や自分の考えから仮説を立て、お取引先の協力をいただきながら、仕事に取り組んでいる。とりわけ、これまで世の中になかった商品を開発できた時には、この上ないやりがいを感じている。開発した商品がよく利用され、組合員さんから「美味しかった!」というお気に入りの声をいただく時、それをお取引先と一緒に喜ぶ瞬間が一番嬉しいです。

私が好きなコープみやぎの方針があります。それは自分で判断できること。組合員さんや仲間のことを思い、聴いたこと・よかれと思ったことは自分の判断でできる。この方針のおかげで、私は人に役立ち喜ばれる感動を体験することができ、自分自身の成長と楽しく仕事をするにつながっているように感じています。

私は、今年1月に第一子を出産しました。妊娠期間中はテレワークができる制度を利用して、体への負担を抑えながら仕事を続けることができました。また初めての育児で不安でしたが、同じ会社で働く夫も育児休暇を取得。夫婦で育児の悩みを共有することができる安心感。育児休暇中は夫が食事を作り、洗濯、掃除などの家事をほとんど担ってくれたおかげで、体を休めることができ、本当に助かりました。赤ちゃんにげっぷをさせるのは、私よりも夫のほうが上手になりました。そして子どもが満1歳の誕生日を迎えるまでは産休を利用し、復帰後は産前に所属していた部署にもどれるので、安心して子育てができます。

これからも家族の時間を大切にしながら、組合員さんのくらしが変化していく中で、常に求められる商品が何かを考え続け、喜ばれる商品の開発を行っていきたい。

# Saori Ino

苦労の先にある感動を実感「自分で判断できること」のおかげで成長できた  
これからもコープみやぎで成長し続けたい



## 楽しく仕事をするとは？

私は現在、商品部に所属し商品開発の仕事をしています。まず、就職して5年間は共同購入に配属となり、トラックで組合員さんのご自宅に伺い商品をお届けする仕事をしました。

配達は大変でしたが、この5年間は私自身が一番成長できたと思える貴重な時間。組合員さんの役に立つことを本気で考えている先輩の姿を観て、「目の前の組合員さんが求めていることは何か、喜ばれるためにはどうすればいいか？」と真剣に考えられるようになりました。

毎週組合員さんとのコミュニケーションツールとして手づくりした「にゅーす」。配達先で組合員さんから教えていただいたレシピを自分でつくり紹介しました。配達先ではよく組合員さん同士で購入された商品が話題になり、「わたしも注文してみよ〜」と他の方のお気に入りや商品の使い方が広がっていく。その後、「この前注文された商品どうでしたか？」とお聴きすると「おいしかったよ!気に入ったからすぐにお店に買いにいったよ」と喜ばれた声。にゅーすでその声を紹介すると、次の配達で「にゅーすで私の声を紹介してくれてありがとう。また美味しい商品があったら教えてくださいね」と喜ばれました。組合員さんが食べたくなる・使いたくなる情報の橋渡しになることで役立ち喜ばれることが嬉しくて、楽しく仕事をする事ができたように思います。コープみやざきで働く中で、誰かのために役立ち喜ばれることが楽しく仕事をするにつながるのだと実感しました。